

令和6年度群馬県こんにゃく現地研究大会を開催します ～未来につなごう、群馬のこんにゃく～

群馬県内外のこんにゃく生産農家が一堂に会し、主産地における生産・流通上の問題点、生産振興等について情報共有を図るとともに、吾妻地区におけるこんにゃく栽培の状況を視察し、今後のこんにゃく栽培技術の向上と経営改善の一助とするため、こんにゃく現地研究大会を開催します。

1 日時

令和6年9月6日（金） 9：30～15：30

2 場所

バイオック文化ホール（中之条町文化会館）
吾妻郡中之条町大字西中之条 135

3 内容

- (1) 開会 (9：30～10：00)
- (2) 講演 (10：15～11：45)
 - ① 「こんにゃくいもを用いた生分解性プラスチックの開発～育苗ポットで緑化活動～」
群馬県立高崎工業高等学校 工業化学研究部
 - ② 「こんにゃくの未来への取り組み～セラミド、マンノースの研究について～」
群馬大学食健康科学教育研究センター 向井克之客員教授
- (3) 現地視察ほ場紹介 (11：45～11：50)
- (4) 閉会
- (5) 現地ほ場視察 (13：00～15：30)

4 参集者

県内外こんにゃく生産農家、農業団体・市町村関係者、県議会議員、県選出国會議員、県関係者等 約400人

5 主催等

主 催 群馬県 群馬県こんにゃく研究会
共 催 中之条町 高山村 東吾妻町 あがつま農業協同組合
あがつま農業協同組合蒟蒻生産部会
後 援 群馬県農業協同組合中央会 全国農業協同組合連合会群馬県本部

【参考】

- ・群馬県こんにゃく研究会（会員数約330人）は、こんにゃく生産農家が技術の向上及び経営の改善を図るため活動している組織です。
- ・県内のこんにゃくいも生産は、全国の収穫量の約95%を占め、主に中山間地域で栽培されています。（令和5年産 栽培面積 2,990ha、収穫量 48,200 t）